

中小企業白書の経年比較分析

中小企業白書は、中小企業庁により取りまとめられ、例年 4 月末ごろに閣議決定し、公表される（今年度は 5 月 10 日公表となった）。その構成は、主に「中小企業の動向」と「中小企業施策」である。本経年比較分析では、最新版含め 3 か年分の中小企業白書を比較し、各年次の特徴を明らかにするとともに、傾向を読み解くことによって、中小企業診断士として押さえておくべき中小企業白書の重要項目をまとめている。

<<2024 年版中小企業白書>>

第1部 2023年度中小企業の動向

1. 令和 6 年能登半島地震の被災地域の状況
→1 月 1 日に発生し大きな被害をもたらした能登半島地震について、被災地域の経済や状況などを分析
2. これまでの新型コロナウイルス感染症の影響と対応
→5 類に移行し落ち着きを見せた新型コロナウイルスの被害についてのまとめ
3. 中小企業・小規模事業者の現状
→例年の「経済の現状」に当たる部分。マクロで見た日本の中小企業を確認。
4. 中小企業・小規模事業者が直面する課題と今後の展望
→**人手不足**
賃上げ
価格転嫁
といった今日の中小企業の課題を分析。

第2部 環境変化に対応する中小企業

1. 人への投資と省力化
→深刻化する人手不足の状況と対応について、採用や人材育成等の視点から分析
2. 中小企業を支える資金調達
→金融機関の利用状況と、金融機関による経営支援・再生支援について分析
3. 中小企業の成長
→成長のためのいくつかの視点を分析。
経営方針
設備投資
M&A
イノベーション
海外展開
4. 中小企業・小規模事業者を支える支援機関

深刻な人手不足と同時に賃上げが求められる状況で、必要な成長(利益)を獲得する道について分析

<<2023 年版中小企業白書>>

第1部 2022年度中小企業の動向

1. 経済の現状
2. 激変する外部環境と中小企業の取組
3. 中小企業の実態に関する構造分析
4. 中小企業におけるイノベーション
5. 地域内の企業立地

第2部 変革の好機を捉えて成長を遂げる中小企業

1. 成長に向けた価値創出の実現
→感染症流行下でも売上高が増加している等の「成長企業」が行っている取組を多岐に渡り分析
2. 新たな担い手の創出
→2021年に分析をした**事業承継・M&A**に加えて**起業・創業**について改めて詳しく分析。
3. 中小企業・小規模事業者の共通基盤
→近年の要素価格上昇に伴う**価格転嫁**の状況、**デジタル化**の進みについての詳しい分析、「経営力再構築伴走支援」の実施に伴う支援機関の課題や能力向上について分析

<<2022 年版中小企業白書>>

第1部 2021年度中小企業の動向

1. 経済の現状
2. 中小企業の現状
3. 雇用の現状
4. 原油・原材料価格の高騰
5. 事業継続計画の取組
6. 労働生産性と分配
7. 経営資源の有効活用

第2部 新たな時代へ向けた自己変革力

1. 中小企業における足下の感染症への対応
→感染症における各種支援策や政策の影響
2. 企業の成長を促す経営力と組織
→ブランド形成・人的資本等の無形資産への投資や経営者の知識・能力・時間。「脱炭素化」「ビジネス上の人権尊重」などを分析
3. 共通基盤としての**取引適正化**と**デジタル化**、経営力再構築伴走支援
→燃料をはじめとした要素価格の高騰と、その**価格転嫁の状況**を分析。「経営力再構築伴走支援」を紹介